



歴史を知り、誇りをもち、夢を育てる

副校長 柴田 英文



10月20日（土）、開校50周年の記念式典と祝賀会を行い、小平第十三小学校の佳節を子どもたちと多くの皆様でお祝いできました。5月のバルーン・リリースをスタートに、6月の開校記念日にあわせた児童集会、記念ソングの歌詞とマスコットキャラクター「トミー」のイラスト募集、7月の十三小フェスティバルでの記念バージョン「トミー」発表、9月の航空写真撮影、開校記念運動会、10月の開校記念児童集会と記念式典準備、そして開校50周年の歌「十三小の校庭で」の発表などを積み重ねてきました。

子どもたちが母校の歴史を知り、その一員であることに誇りをもち、将来への夢を育成するという目標を、教職員は様々なアイデアを出しながら教育活動として進めてきました。

記念式典に参加されたご来賓の多くから、児童代表として参加した5、6年生の姿にお褒めの言葉をいただきました。また、本校の取組を知った地元ケーブルテレビもニュース番組として取り上げていただきました。一つ一つの積み重ねが結実したものと感じています。

「夢は正夢」と揮毫された色紙とともに、メッセージを送ってくださった卒業生の北海道日本ハムファイターズ栗山英樹監督の言葉にあるように、「夢に向かって邁進するたくましい若者が育ちゆく場であり続けること」にふさわしい学校として、これからも教職員とともに良き伝統を築きあげていきたいと思えます。

11月には、一連の開校記念行事のトリを飾る「開校50周年記念音楽会」を迎えます。

「50周年おめでとう！！ ～未来へつなぐ 13小ハーモニー～」をテーマに掲げ、保護者の皆様にも、児童の歌声で「十三小の校庭で」をお聴かせできる機会も用意しています。ぜひ、本校の音楽会へお越しいただけますようご案内申し上げます。

ご多忙の中、式典・祝賀会にご参列いただいた小平市をはじめ、教育委員会、都議会・市議会、歴代校長及び教職員、市内小・中学校長、地域の皆様には感謝申し上げます。

そして、開校50周年の慶事を進めるにあたって、実行委員会として、学校にお集まりいただいた保護者・地域の皆様、受付やご案内などのボランティアスタッフとして献身的に行事の一つ一つにお力添えをいただいた保教の会、青少対の皆様には、心から感謝申し上げます。

皆様のご厚情にあずかるたびに、改めて本校が「地域と共にある学校」であることを、認識する貴重な機会となりました。祝賀会のフィナーレに皆様とともに歌った「ふるさと」のように、今後も小平第十三小学校が、子どもたちや皆様にとって、心のふるさとであり続けることを願ってやみません。

○11月の芝刈りの予定

月曜日 (15時30分～)	水曜日 (14時30分～)	金曜日 (14時30分～)
26日	21日	9日 16日